



ごあいさつ

公益社団法人 宇和島法人会

会長 岡 兵 典

第36回川淵カップ宇和島サッカーフェスティバルの開催を心からお慶び申し上げます。公益社団法人宇和島法人会は社会貢献活動事業の一環として、地域のスポーツ大会を通じて小学校の男子、女子児童の健全な成長をサポートし「フェアプレーの精神」を育む活動を応援しております。

さて「川淵杯」を冠した少年少女サッカー大会は、日本全国40の地域で開催されています。その中でも川淵カップ宇和島サッカーフェスティバルは最も歴史の古い冠大会の一つです。日本サッカー協会相談役の川淵三郎氏は世界の強豪を相手に主導権を握って闘える日本チームを作るためには裾野が広がり、子供の頃から育成強化された人材の輩出が必要不可欠だと考えられました。そして各地に冠大会が生まれたのです。

サッカー日本代表はワールドカップをはじめとする国際サッカー大会で善戦し、日本のサッカーレベルの高さを世界に示しました。愛媛県にもJ2リーグ所属の愛媛FC、J3リーグ所属のFC今治の2つのプロサッカーチームが活躍しており、全国の強豪チームと熱戦を繰り広げています。サッカーに夢と希望をもってプレーする少年少女が、その夢を実現できる身近な環境ができつつあるのではないかと感じます。

本大会は、新型コロナウイルス感染症対策により、3年間開催が中断されましたが、昨年より再開し、多くの皆様にご参加いただきました。今年も大勢のご参加をいただき、昨年以上に熱い試合が繰り広げられることを期待しています。試合ですので当然「勝ち」「負け」という結果が伴いますが、参加した子供たちには、勝敗に一喜一憂するだけでなく、結果について「学び」、将来に「活かす」こと、「個人力」を高めるだけでなく、「チームメイトとの信頼と絆」を深めることの大切さを感じて欲しいと思います。サッカーに真摯に向き合い、たくさんの仲間と友情をはぐくみ、サッカーの楽しさと素晴らしさを実感できる機会として、本大会を開催できることを嬉しく思います。

終わりに、本大会の開催にご尽力いただいた保護者の皆様をはじめ、宇和島市サッカー協会、宇和島市、宇和島市教育委員会、宇和島ケーブルテレビ株式会社ほか、関係者の皆様に心からお礼申し上げます、ご挨拶といたします。

令和6年7月7日